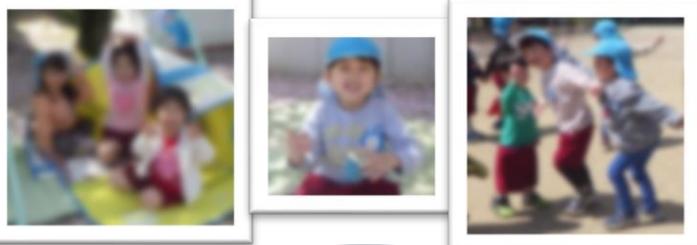


すてきな
みんなの
えがおか



いよいよ大きい組！

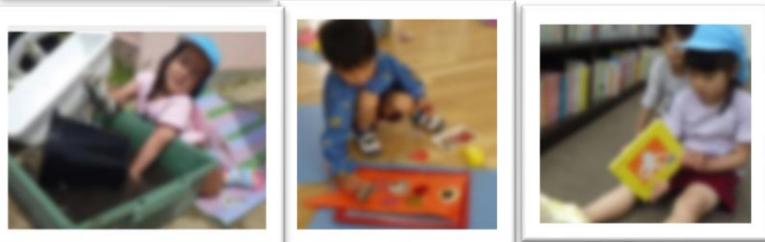
楽しみにしていた水色の名札や帽子。一人一人手渡すと、目を輝かせて喜ぶ姿が見られました。入園式で新しい名札をばら組さんや保護者の方に誇らしげに見せる姿が微笑ましく印象的でした。ばら組のお世話をしたり、幼稚園を案内したりして、5歳児としての自覚を少しずつもち始めています。ばら組さんからの「ありがとうございました！」のお礼の言葉に「どういたしまして！」とにかく自信をもって答えていました。



春の自然とのふれあい

チューリップの鉢の下や園庭の隅にいるダンゴムシ探しに夢中になって遊ぶ姿が見られます。ダンゴムシの絵本を見てから、「枯れ葉が好きなんやつてー」「コンクリートも食べるん！？」と、ダンゴムシを飼うために必要な物を自分たちで集めています。

「先生！この四角、ウンチじゃない？」と教えてくれたりもします。身近な自然体験は、子どもたちのワクワクした心やもっと「知りたい！」という探求心を育ってくれているのだなと改めて気づかされました。



ゆりぐみ

大阪市立墨江幼稚園

2025.4 No.1



「とらグループ」「こうもりグループ」「ねこグループ」

ゆり組になって、初めて子ども達同士の話し合いでグループの名前決めをしました。自分の考えを友達に伝えること、友達の気持ちを聞いたり受け入れたりする経験ができるように、話し合いの様子を見守りました。なかなか一つに絞れず、初めての話し合いは難しかったですが、各グループで、友達の意見に賛同したり、ジャンケンで決めようというグループがあつたり、それぞれ納得して決めることができました。また毎日、活動の合間や降園前に自分の体験や思いを発表する機会を設けています。その経験の積み重ねが、自分のことを表現する面白さや相手に分かりやすく伝える力になつたり、友達の話を聞いて理解し、言葉を通して教師や友達と心を通わせる楽しさに繋がっていきます。

「えー。遊んでないのにー」

園庭のおもちゃの片付けを頼んだ時の子どもとの会話です。『自分は遊んでないから片付けするの嫌やな』というのは、子どもの自然な思いでもあります、そのままにしておいたらどうかなと子どもたちと話し合いました。「雨がふったらびしょびしょになる」「濡れたおもちゃは嫌や」などと、困ることの意見が出ました。「遊んだ後はみんなでおもちゃのパトロールをしよう！」と話し合いました。5歳児なりに責任感をもち、最後まで取り組めるよう、友達や教師から感謝の気持ちを伝えたり、励ましたりし、頑張る姿を認めていきたいです。



持ち上がりで今年度も子どもたちの担任をもたせさせていただけることを感謝すると共に、これからどんなことをして遊ぼう！と楽しみの気持ちでワクワクしています！

お子さまの様子や友達関係のことで大丈夫かなと悩まれることがあるかもしれませんのが、保護者の方とご家庭の姿、幼稚園での様子を伝え合いながら、成長を見守っていけるよう、1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。1年間どうぞよろしくお願ひいたします。